



表彰された9年生のマイ！（カンボジア孤児院）

皆さんの尊い御支援、いつも本当にありがとうございます。

この原稿を執筆しているのは8月初旬ですが、8月の27日に福島県郡山市に建設中であったファミリーホームの建物の引渡しがなされます。本当に皆さまの御協力に感謝致します。これから子供たちの受け入れに向けて、県の認可やスタッフの確保など、色々な課題があります。しかし、まずは建物が完成したことにより、具体的な活動も思いの外早く始まるものと思われま。

海外の孤児院に関しては、毎回のニュースレターでも書かせていただいておりますが、子供たちの学費、孤児院の運営費など、経済の面での大きな課題が続いております。子供たちも大きく成長し、子供たちが初めて孤児院に来た頃を思い起こす時、ただただ皆さんのお力・御支援に感謝するばかりです。

これからも助けを必要とする子供たちがやってくるでしょう。

そして子供たちを助けるためには皆さんのお力がなによりも必要であります。

これからも皆さんの御支援・サポート、どうぞよろしくお願い致します。

## カンボジア孤児院レポート

## ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。それぞれの学校は、1年を終了して新学期までの休みに入りました。学校によっては、終了式を迎える前に運動会や楽しくクラス会が行われたり、また1年間成績が優秀だった生徒達が表彰されました。その中に孤児院の3人の子ども達も入っていたのは、本当に喜びでした。皆様のご支援によって、子ども達が学び続けることが出来、また良い結果を見ることが出来ています事を改めて感謝申し上げます。現在カンボジアは雨季ですが、今年は比較的雨が少ない年のように思っていましたら、数日間続けて大雨が降り続いた事がありました。周りの家々は新しく建てられたところが多く、その際土台を高く盛り上げますので、水は低いところに集中して孤児院のある隣近所は洪水状態になってしまいました。もう少しで家の中まで入りそうでしたが、皆で水を外に汲み出して危機を脱しました。いろいろ起こってくる状況にも、子ども達が積極的に動いて助けてくれます。このような1つ1つの体験も、必ず役立つ時が来ると思っています。



サッカーを楽しむ子どもたち！

## フィリピン孤児院レポート

## エディー・エミア

皆様の尊いご支援をいつもありがとうございます。今月は就学支援を受けている子どもたちの中から、デクスターM. リアソンについてご紹介したいと思います。デクスターはスアワン出身の14歳です。昨年、母親は病気で亡くなりました。父親は絶望し、子どもたちを年老いた祖父母に預けて家を出てしまいました。担任



クイーンに選ばれたアイラ(左)とグレイス！

教師は、私たちのスタッフでスアワン国立高校の教師をしているグレイスにデクスターを推薦しました。今デクスターは、明るい未来に向けて学校で学び続けることが出来、とても喜んでいきます。皆様のご支援、ご協力を心から感謝致します。皆様のご支援は子どもたちの命を救い、彼らに夢と明るい未来を与えています。どうぞこれからもフィリピンの子どもたちのためにご支援をお願い致します。

## ザンビア孤児院レポート

## シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?ザンビアは、まだまだ寒い日が続いています。そんな時に、日本よりたくさんの防寒着を含む、文房具、ランドセル、お菓子、靴などが届きました!送って下さった方々に心より感謝申し上げます。早速、カセンガ第一、ルサカ第二孤児院にて配布致しました。

現在、カセンガ第一孤児院では約 100 人の孤児、ルサカ第二孤児院では約 50 人の孤児、ストリートキッズをサポートしています。その多くは親戚に預けられているのですが、生活が困窮していて全く学校に行けていない子どもも多くいます。このような皆様のご支援が、多くの子どもたちが貧困から抜け出し、新しい人生に希望を持って歩いていく力を与えてくれています。どうかこれからも、継続したご支援を宜しくお願い申し上げます。



靴をもらって大喜びの子どもたち!

また、特に緊急のお願いですが、現在はたった一台の車両(これも故障が続いています)で二つの孤児院を運営しているため、多くの不自由と困難に直面しています。そのため、もう一台の車両と、バスを必要としております。どうか、皆様のご協力をお願い申し上げます。

## ブラジル孤児院レポート

## 松本弘子

皆様の尊いご支援とサポートをいつもありがとうございます。皆様の尊いご支援とご協力をありがとうございます。9月2日まで一時帰国をさせていただいています。暑い東京の夏を含めて、日本の面白い物、便利な物を楽しんでいます。一時



イエフダさんとエレーナさん!

帰国の直前に、児童養護施設の社会福祉法人設立に向けて、第一回目の会合を行いました。イエフダさんとエレーナさんが参加してくださいました。都合がつき次第、グアララペスの土地を訪問して下さる予定です。また今回は参加されませんでした。土地はすでに訪問して下さったヴァウテルさんとカチアさんも協力すると言ってくさっています。さらに多くの協力者が与えられますように願っています。

# ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

### 【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

### 【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

### 児童養護施設（孤児院）設立支援のため

### 【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

### 【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

## 「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：[ishizue@athena.ocn.ne.jp](mailto:ishizue@athena.ocn.ne.jp)

<http://www.cornerstone.or.jp/>